



佐藤副市長から手渡された表彰状を、親族や近所の方々に笑顔で見せる金五郎さん

藤原金五郎さん(七日市字下船木岱)が8月20日に100歳の誕生日を迎え、自宅で長寿を祝う表彰式が行われました。親族や近所の方々も集まり、金五郎さんの長寿をお祝いしました。

### 藤原金五郎さん百歳おめでとう

長寿を祝い表彰状と記念品を贈呈

金五郎さんの生活スタイルは、午前9時頃起床、午後6時に就寝。週1回デイサービスを受けるためケアタウンに通っています。好きな食べ物はご飯、塩辛いものはほとんど食べない。趣味はテレビを見ること、相撲やマラソンの中継が楽しみとのこと。長生きの秘訣は、酒は飲まない、たばこも吸わないこと、話して、これま

### 復活大会の成功を目指し協議

100キロマラソン 鷹巣地区実行委員会



各ボランティア団体の役割や業務内容などを確認した鷹巣地区実行委員会

3年ぶりに復活した第18回北緯40度秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソン(伊藤四郎大会会長)の鷹巣地区実行委員会成田光弘実行委員長が8月11日、市交流センターで開かれ、大会を支えるボランティアが大会の成功に向け役割分担などを協議しました。

年間の中止となり、今回は3年ぶり18回目の開催となります。今年の開催日は9月28日(日)です。参加申込は6月末日に締め切られ、100キロの部(角館・鷹巣)に1198人、50キロの部(阿仁比立内・鷹巣)に278人の計1476人がエントリーしています。

成田実行委員長は、2年間のプランクがあつたにもかかわらず参加者の減少が心配されたが、前大会と比べて50人ほどしか減っていない。むしろプランクがあつたことで大会の必要性が見直されたとも考えられる。この大会は秋田県でも最大級のイベントとして定着している。復活した大会を成功させるために「協力を」などとあいさつ。

### 北秋田市の特産になるか「小玉スイカ」

太田集落営農生産組合が初出荷



太田集落営農生産組合で進んでいる小玉スイカ『こたまる』の出荷作業

8月、栄地区の集落営農組織・太田集落営農生産組合(藤嶋健一組合長)が生産する小玉スイカの出荷が行われ、今年4玉入り750ケースがJA鷹巣町経由で秋田市の中央卸売市場に出荷されました。

小玉スイカは、従来のスイカを品種改良してできた直径が約20センチほどのスイカです。ラゲビーボールに似た形で冷蔵庫にもまるごと入る大きさ。小さくても皮が薄いので可食部はたっぷり甘みも強く、普通のスイカより甘みも強い。同組合では、昨年からの高収益作物の導入を進め、米と大豆のほか、このスイカに注目。県北地区は寒暖の差も大きく、このスイカの生産に適していることから、今年6月に栄地区の畑30アールに作付けしました。

### 市長日誌

8月1日～15日

- 1日(金) 8月1日付け人事異動に伴う辞令交付式(市役所) 元阿仁町議故飛沢真一氏の叙位伝達式の立会い(市役所)
- 3日(日) 第55回秋田県学校保健研究大会大館北秋田大会に出展(文化会館) 講師としてスキングダイビング講習会に出展(市民プール)
- 4日(月) ロシアハバロフスク地方視察研修のためハバロフスク市へ渡航(日程8月4日～8日)(ロシアハバロフスク市)
- 11日(月) 9月補正予算案の査定を実施(市役所)
- 12日(火) 北秋田市議会議員全員協議会に出展(市役所) 秋田内陸線用務で西村副知事と面談(県庁)
- 14日(木) 第52回市民盆踊り大会オープニングに出展(駅前銀座通り商店街)
- 15日(金) 平成20年度北秋田市成人式式典に出展(文化会館)



在ハバロフスク日本国総領事館公邸で貝谷総領事と(8/7)



平成20年度成人式(8/15)

### がん征圧月間

9月1日(月)～9月30日(火)

「検診と 日々の暮らしで がん予防」

9月1日(月)～9月30日(火)

「1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ ～良い生活習慣は、気持ちがいい!～」

### 健康増進普及月間